

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	学びのスタンプ事業	5-6
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1 4
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	生涯学習部社会教育課	直通電話	72-3173
担当部長	飯尾徹	担当課長	清水雅季
		担当者	板谷英郁

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	【学びのスタンプ制度】 「社会教育委員の会議」での発案後、H19年6月、市民の運営委員会が設立され、実現。市役所や大学、サークル、NPOなどが行う講座・セミナー等を受講した記録を共通の「スタンプ」で手帳にまとめ、「学びの証し」として貯めていく制度。30、60、90スタンプで「修了証」を授与。登録料は500円。新設の「市民協働事業」。		
(2)事業開始年度	平成19年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	学習機会の整備充実	
	施策コード	50102	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	だれもが自由に学習機会を選択しながら、生涯にわたって学び続けられる環境を整え、自己実現を図りながら充実した人生を送ることができるようにする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	できるだけ多くの市民に、「学びのスタンプ」に登録してもらう。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	市民に積極的に制度の情報を発信する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	新たな生涯学習の推進体制の検討
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	全国的に、団塊世代の大量退職とそれによって加速される高齢化社会を迎えての生きがいづくりが必要とされている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	市民による運営委員会を中心に市教委との協働により運営している。

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)			0	0
(2)その他の間接経費(千円)			0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	0	0	2,691	/
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	0	0	2,691	
事務に従事した正職員延べ人数			0.30	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
収	区 分				支	区 分				
	H17	H18	H19	H20予算		H17	H18	H19	H20予算	
	市補助金等(A)									
入	計(B)	0	0	0	0					
	(A/B)					計	0	0	0	0

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活 動 指 標 名		H17	H18	H19	H20
「学びのスタンプ運営委員会」開催数(回)	目標値			22	22
	実績値			22	/
	達成率			100.0	
	目標値				/
	実績値				
	達成率				/
	目標値				
	実績値				/
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
「学びのスタンプ」登録者数(人)	目標値			200	200
	実績値			147	
	達成率			73.5	
「学びのスタンプ」30スタンプ獲得者(人)	目標値			未設定	未設定
	実績値			7	
	達成率			-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	1	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	事業の成果と施策の成果とに関連があるか
その事業に市が関与する必要があるかどうか			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性			イ 成果
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1	事業の成果は目標を達成しているか
コスト削減は可能か			1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
(3) 公平性			ウ 事業内容
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か
さらなる受益者負担は可能か			
(1)～(4)の評価ポイント合計			
総合評価の参考にしてください。			
7～11 A or B			
12～15 B or C			
16～21 D or E			
10			

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		本市では、生涯学習への市民協働の度合いが年々高まってきており、19年度からスタートした市民が企画運営する「学びのスタンプ制度」は特筆すべき制度である。	
A	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		本事業は、市民組織の「生涯学習講座企画ボランティアの会」と合体し20年6月に発足した市民組織「いしかり学びをつくる会」で行うこととなった。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		課長評価を了承する。	
A	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		「学びのスタンプ制度」が、徐々に市民に認知されてきており、今後、新たな組織において実施されることとなり、更なる市民への定着が期待できる。	
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		